

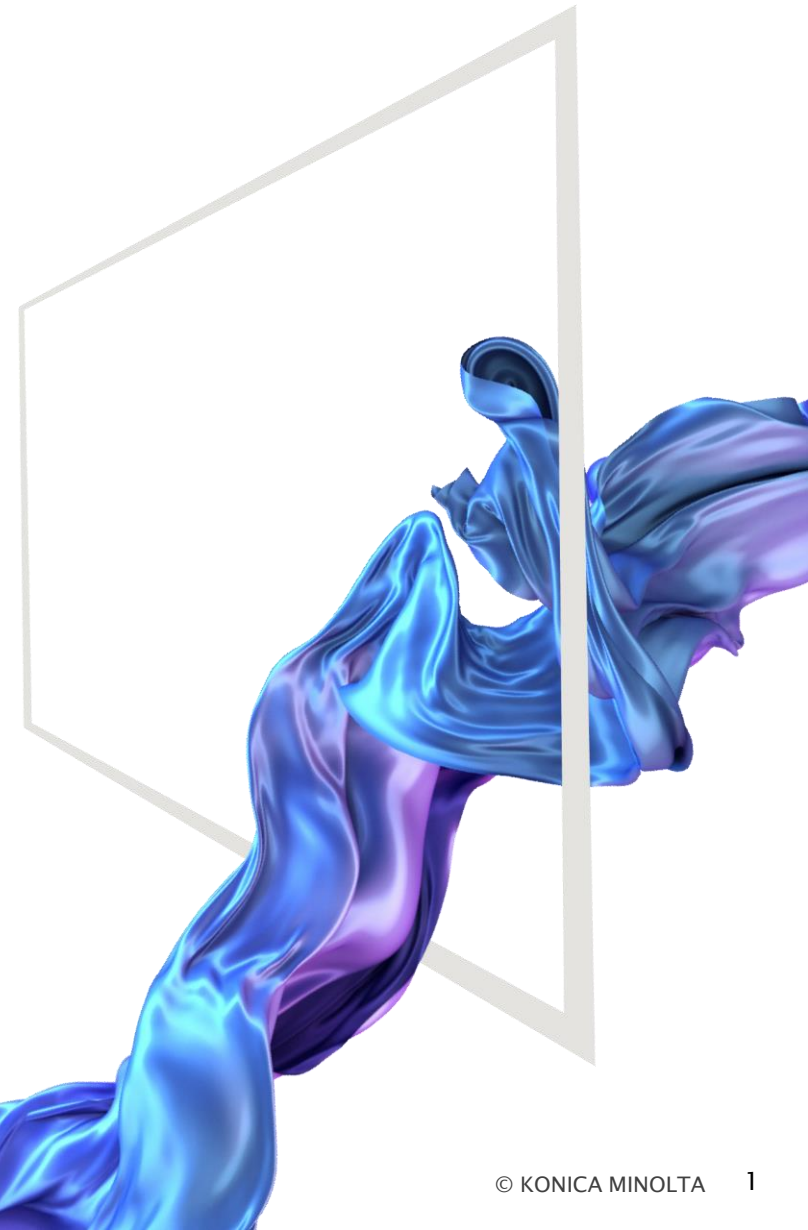


KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社 2023年3月期（2022年度） 第1四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2022年7月28日





KONICA MINOLTA

2022年度1Q 業績 及び 2022年度業績見通し



2022年度1Q 業績 | 全社サマリー



KONICA MINOLTA

構造改革一部前倒しし、全体としては想定をやや上回る進捗

売上高

- プロフェッショナルプリント、ヘルスケアが増収。インダストリーは減収
- デジタルワークプレイスは受注は堅調に推移も、前年比では半導体等部材不足に加え、上海ロックダウン影響で受注残増加

営業利益・キャッシュフロー

- 営業利益：価格対応実施も部材・物流費高騰により粗利率悪化、航空輸送などによる販管費増、構造改革費用35億円計上（デジタルワークプレイス）により減益
- FCF：当期損失、輸送中在庫増・部材在庫積み増しなどによりマイナス

【億円】	2022年度	2021年度	前期比	為替影響を 除く前期比
	1Q	1Q		
売上高	2,478	2,299	+8%	△ 1%
売上総利益	1,048	1,013	+3%	△ 5%
(売上総利益率)	42.3%	44.1%	△ 1.8pt	
販売管理費	1,107	992	+12%	+4%
事業貢献利益(*)	△ 59	21	-	-
営業利益	△ 110	31	-	-
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	△ 87	10	-	
FCF	△ 249	△ 28	-	
為替レート (円)				
USドル	129.57円	109.49円		
ユーロ	138.12円	131.96円		

(*) 事業貢献利益はIFRSの営業利益から、その他の収益・費用を戻したものの

2022年度1Q 業績 | 事業セグメント別売上高と営業利益



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	2022年度 1Q	2021年度 1Q	前期比	為替影響を 除く前期比
デジタルワークプレイス事業	1,289	1,212	+ 6%	△ 3%
プロフェッショナルプリント事業	551	479	+ 15%	+ 5%
ヘルスケア事業	287	252	+ 14%	+ 3%
インダストリー事業	349	352	△ 1%	△ 7%
コーポレート他	3	3	△ 7%	△ 1%
全社合計	2,478	2,299	+ 8%	△ 1%

営業利益	2022年度 1Q	営業利益率	2021年度 1Q	前期比	為替影響を 除く前期比
デジタルワークプレイス事業	△ 76	-	11	-	-
プロフェッショナルプリント事業	9	2%	10	△ 4%	△ 96%
ヘルスケア事業	△ 65	-	△ 32	-	-
インダストリー事業	62	18%	80	△ 22%	△ 31%
コーポレート他	△ 41	-	△ 37	-	-
全社合計	△ 110	-	31	-	-

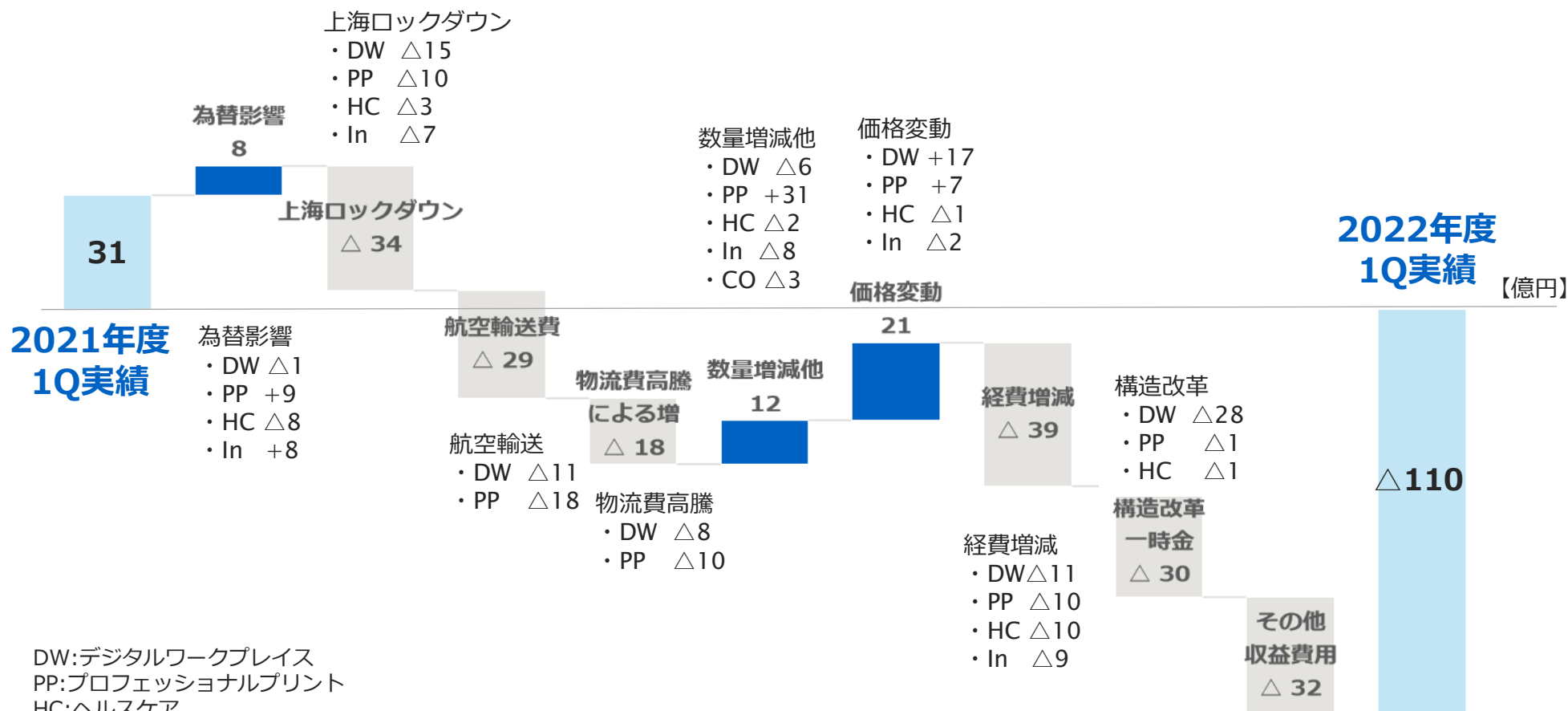
2022年度1Q 業績 | 営業利益の増減要因



KONICA MINOLTA

【億円】

- 上海ロックダウン影響△34 : 今期中に挽回見込み
- 航空輸送費△29 : トナー工場事故からのリカバリーで今期は必要
- 物流費高騰△18
- 価格変動(+21)と数量アップ(+12)で部材費高騰を吸収
- 販売量増減のDW(△6)は半導体影響



DW:デジタルワークプレイス
 PP:プロフェッショナルプリント
 HC:ヘルスケア
 In:インダストリー
 CO:コーポレート他

達成できたこと

- **オフィス、プロダクションプリント**：想定に対して供給面で現地荷揚げ・客先出荷を早期化出来たことによりハード・ノンハードの販売が増加、販管費を抑制。トナー供給は予定通り改善
- **デジタルワークプレイス**：2Qに予定していた構造改革一時費用の前倒し計上（効果拡大につなげる）
- **センシング**：好調な滑り出し（計画値過達）
光源色計測領域におけるM&Aによる一層の事業機会の創出（成長領域への投資継続）
- **産業印刷**：ノンハード売上が全ての分野で伸長
- **画像IoT**：FORXAI戦略パートナーの拡大、Vaxtor社買収による高付加価値化、販社活用体制構築
- **プレジジョンメディシン**：国内における「GenMineTOP がんゲノムプロファイリングシステム」の薬機承認（精緻ながん診断を推進することによる個別化医療の実現。患者のQOL向上への寄与）

達成できなかったこと（課題）

- **デジタルワークプレイス**：上海及び局地的なロックダウンによる生産・出荷遅延（年内挽回見込み）
- **プレジジョンメディシン**：遺伝子検査数が想定を下回り、収益性の改善に遅れ
- **機能材料**：モバイル・IT領域でのテレワーク特需の反動減などで市場在庫調整の影響を受け減収（下期から市場回復を想定）

1Q課題に対する2Q以降の対応策 | デジタルワークプレイス



KONICA MINOLTA

□ 施策 (✓は対応済み)

オフィス

DW-DX



粗利額



売上高



売上原価



ハード受注残の売上転換

- ✓ 中国ロックダウンの計画への織り込み、生産体制の強化、1Qロックダウンの影響は年内に挽回
- ✓ 半導体等部材の確保



供給量のアップ

- ✓ サーバーなど調達の複線化によるITサービス商材の確保
- ✓ 欧州人財増強によるサービスデリバリー力の強化



売上原価の輸送費低減

- 生産・供給量の正常化による航空輸送の削減（トナーは市庫在庫正常化まで航空輸送継続）



サービス原価低減

- ソリューションのパッケージ化による小規模顧客案件のデリバリープロセスの効率化



構造改革の効果創出、DX推進による効率化推進

- 構造改革実施と効果出し 費用1Q：35億円（先行実施） 2Q：25億円 効果FY22：約40億円（期初想定+5億）、年間効果：約65億円
- 人財アロケーションの最適化
- ✓ 顧客ターゲティングへのAI活用推進などDXによる営業効率化

販売管理費



施策 (は対応済み)

遺伝子検査

創薬支援

保険償還可能サンプル数の増加

- 受注サンプル数の増加
(含むパートナー戦略)

受託試験分野の安定成長

- オンコロジー領域のプロジェクト受注
拡大

売上高

保険償還率の向上

- 保険償還作業効率の向上
- 低償還率施設への対応
- 営業インセンティブの見直し

検査の原価低減

- 新型シーケンサー活用向上による原価
低減

売上原価

売上レベルに応じた販管費の再設計及び最適化

- 遺伝子検査の営業面での提携・協業
- 人員最適化

粗利額

販売管理費



デジタルワークプレイス

売上回復後の規模感を想定し、販売・サービスのプロセス・組織効率化、ITサービス採算性向上策の実行

AI・インサイドセールス導入拡大

マネジメント構造簡素化

ITSパッケージ化による販売効率化

- 一時費用約60億円
(1Q 約35億円、2Q 約25億円)
- 当期効果約40億円 (期初想定+5億円)
※年間効果65億円
(2Q 約5億円、下期約35億円)

プレジジョンメディシン

収益性を最優先とする事業運営方針に転換。前回からの追加施策として、2年前より拡充してきた営業人員を中心に大幅削減し適正化を実行

販売エリア選別、低粗利案件縮小

機能統合・開発テーマ選別

パートナー戦略による販売効率化

- 一時費用約3億円
(1Q 約1億円、2Q 約2億円)
- 当期効果約20億円 (1Q 約1.5億円、2Q 約3.5億円、下期約15億円)

1Q：堅調なICT検査用途

- **基盤事業**：光源色（ICT端末用のディスプレイ、照明等）と物体色の検査が対前年+11%伸長。為替も追い風
- **戦略事業**：1Q売上は部品不足影響で前年並み、受注は順調に拡大

- **HSI* 計測**：
欧州で化成品リサイクルの分別向け需要拡大

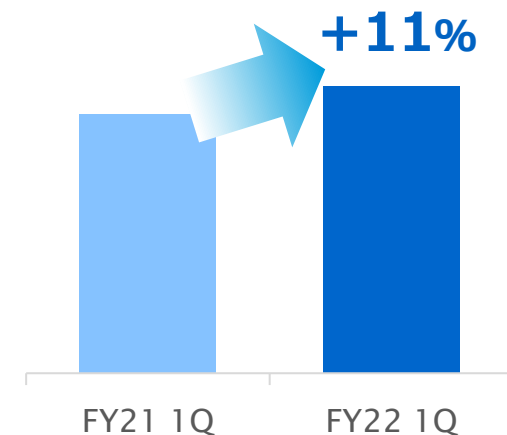
- **外観計測**：
ICT向け：受注堅調。部品調達遅れ影響あり、2Qに解消見込み

自動車向け：部品不足に起因する顧客生産調整の影響はあるが、グローバルで受注拡大



光源色・物体色計測の伸長

(対前年同期比 売上高成長率)



2Q以降

- **1Qの好調を継続**
- **光学デバイスの検査事業を強化**：当社子会社 Instrument Systems社（独、以下IS社）により韓国キムスオプテック社とSPA締結、2Qに連結を予定。IS社のアジア域の顧客接点を強化。ディスプレイ+新規AR/VRディスプレイの進化に寄与し、かつ、認証用等3Dセンサデバイス検査事業へ参入



*HSI: Hyper Spectral Imaging 多数の波長毎の情報を可視化する技術



継続課題/1Qの状況

2Q以降の打ち手

機能材料

- 大型TV市場におけるVA位相差フィルムのポジションは堅調に維持
- IT/スマートフォン市況のリモートワーク特需反動による市場在庫調整影響で減収
- 原材料調達における円安影響含むコスト増

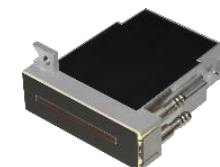
- 当社強みのTV領域のシェア継続拡大
- 市場在庫調整後の急速な需要増に向けた準備
- 原材料調達先の複線化推進



IJコンポ

- 上海ロックダウンによる中国顧客向け販売減
- 欧州市場での高精細サイングラフィックス向け販売の好調

- 回復進む欧州での新規受注拡大
- プリント基板などの工業用途向け領域拡大



メディカルイメージング*

- 日米でX線関連（DR/システム）・医療IT堅調
- 動態回診車の国内先行立ち上げ

- X線、医療ITは高付加価値化を推進
- 動態回診車の国内展開加速、米国での立ち上げ

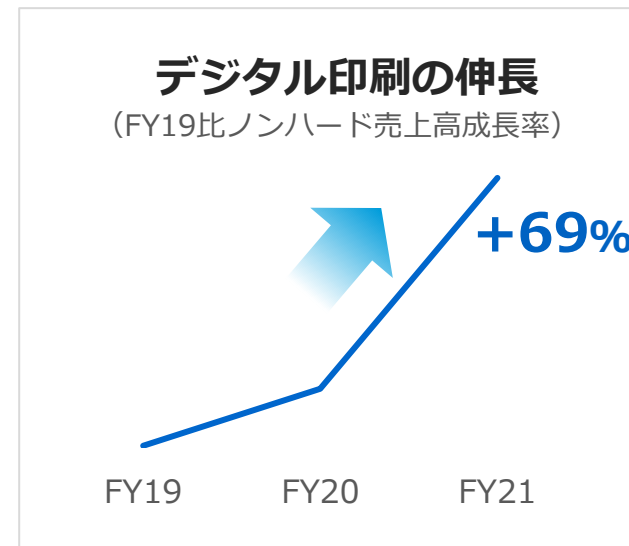


* メディカルイメージング：ヘルスケア事業（ヘルスケアユニット）

画像技術とDXで顧客や社会課題の解決に貢献。戦略的新規事業による市場創出

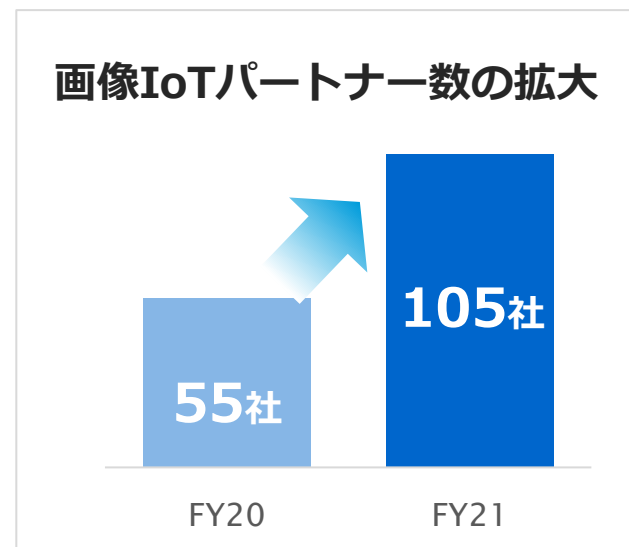
産業印刷

- 画像技術と市場開拓力でデジタル印刷市場の拡大を牽引
 - ・ 高級商業印刷、パッケージ、ラベル、テキスタイル分野でノンハードの売上伸長 (YoY +42%)
 - ・ TAM 商業印刷 (デジタル) 1.4兆円
ラベル、パッケージ 3000億円



画像IoTソリューション

- パートナーとの戦略的提携・M&A機会の追求
 - ・ ソフトバンク：自治体防災ソリューションの開発中
 - ・ キンドリル：スマートファクトリー領域のDX推進
 - ・ Vaxtor：ナンバープレート認識とOCR技術の獲得
(Mobotix社によるM&A)
- 画像IoT、AI人材の強化と育成：
世界最大のAIコンペ「Kaggle」で当社のデータサイエンティスト、AIエンジニア3名が金メダルを受賞



2022年度 業績見通し | サマリー



KONICA MINOLTA

- ドル・ユーロ前提を実勢レートに合わせたことにより、売上高を上方修正
- 営業利益はドルが悪化要因、ユーロと中国元が好転要因となるが、中国ゼロコロナ政策の不透明感を考慮して据え置きとする

【億円】

	2022年度 見通し (今回)	2022年度 見通し (前回)	2021年度 実績	対前年 増減	対前年 増減率
売上高	10,200	9,800	9,114	+1,086	+ 12%
営業利益	150	150	△ 223	+373	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	55	55	△ 261	+316	-
設備投資額	500	500	424		
減価償却費及び償却費*	500	500	558		
研究開発費	630	630	627		
FCF	200	200	△ 136		
投融資	160	160	0		
為替レート [円]					
USD	135.0	110.0	112.4	+22.6	
EUR	135.0	125.0	130.6	+4.4	

*IFRS16による使用权資産償却費は含まない

2022年度 業績見通し | セグメント



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	2022年度 見通し (今回)	2022年度 見通し (前回)	2021年度 実績	対前年 増減	対前年 増減率
デジタルワークプレイス事業	5,200	4,950	4,654	+546	+ 12%
プロフェッショナルプリント事業	2,200	2,100	1,947	+253	+ 13%
ヘルスケア事業	1,275	1,250	1,099	+176	+ 16%
インダストリー事業	1,525	1,500	1,392	+133	+ 10%
センシング	450	420	424	+26	+ 6%
材料・コンポーネント	925	930	842	+83	+ 10%
画像IoTソリューション	150	150	126	+24	+ 19%
コーポレート他	0	0	21	△21	-
全社合計	10,200	9,800	9,114	+1,086	+12%

営業利益（営業利益率）	2022年度 見通し (今回)	2022年度 見通し (前回)	2021年度 実績	対前年 増減	対前年 増減率
デジタルワークプレイス事業	35 0.7%	35	△ 62	- +97	-
プロフェッショナルプリント事業	75 3.4%	50	10 0.5%	+65	+ 624%
ヘルスケア事業	△ 90 -	△ 65	△ 203	- +113	-
インダストリー事業	300 19.7%	300	185 13.3%	+115	+ 62%
コーポレート他	△ 170 -	△ 170	△ 153	- △17	-
全社合計	150 1.5%	150	△ 223	- +373	-

2022年度 業績見通し | 2022年度重点施策

- 事業ポートフォリオの転換に向けて

2022年度重点施策

検討中 実行中 完了

	検討中	実行中	完了
安定収益事業 オフィス	●販売/サービス/管理の効率化/高質化のための構造改革の実施		✓
	●中長期を見据え、地政学リスクを考慮したモノづくり戦略の見直し（パートナー戦略含む）	✓	
コア事業 センシング、機能材料、 リコンポーネント、 ヘルスケア（メディカル イメージング） プロダクションプリント	●成長領域での事業展開継続強化		✓
	●中長期を見据えたM&A（センシング）、厳選かつ戦略的な設備投資（機能材料）、戦略的提携の効果出し（ヘルスケア）、人財投資の実施		✓
戦略的新規事業 プレジジョンメディシン、 画像IoTソリューション、 DW-DX、産業印刷	●IPOの適切な時機を見計らいながら準備継続（プレジジョンメディシン）	✓	
	●（追加）収益性最優先の最適化施策（プレジジョンメディシン）		✓
	●グループ間シナジーの最大化（画像IoTソリューション）、デジタル印刷化の潮流を捉えた事業成長の加速（産業印刷）		✓
	●これまでの人財および開発投資に基づく成果出しへの注力、厳選した先行開発投資の実施		✓
低収益事業 光学コンポーネント、 マーケティングサービス	●外部資本の活用を念頭に置いた施策の継続推進	✓	
	●バリューチェーン上流へのリソース集中		✓



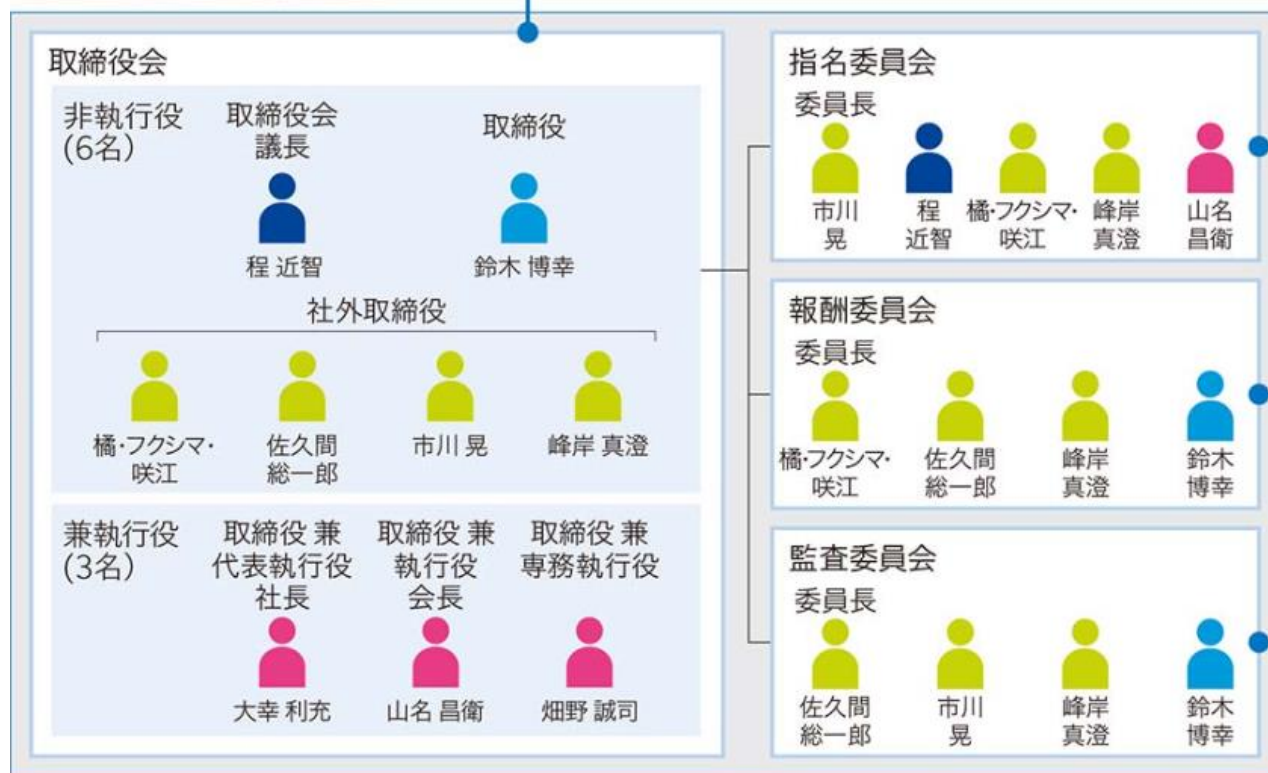
KONICA MINOLTA

ESGの取り組み



- 取締役会議長を初めて社外取締役が務めるとともに、取締役会の過半数を社外取締役に
- 監督と執行を分離した透明性の高いコーポレートガバナンス体制の一層の進化

取締役会と三委員会の構成



取締役会の特長

- 社外取締役全員が独立役員
- 社外取締役に過半数
- 議長は社外取締役
- 執行役を兼務しない社内取締役は1名以上

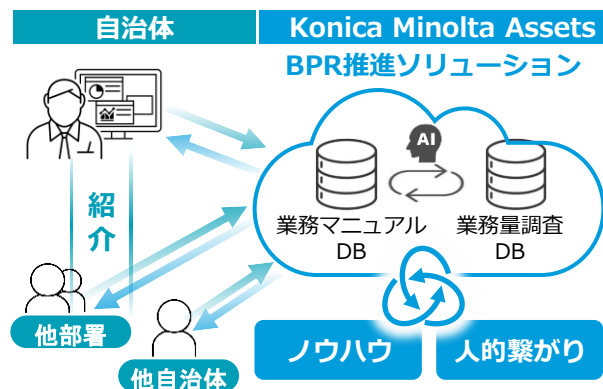
三委員会の特長

- 委員長は社外取締役
- 代表執行役を兼務する取締役は委員を務めない

ESG × DX推進の成果

自治体のDX支援

- ガバメイツが愛媛県「市町業務標準化モデル構築事業」を5億円で受注
- 箕面市、箕面市教育委員会と包括連携協定を締結



プロフェッショナルプリント事業

- バーチャルショールームが「イノベーションアワード2022」(独)を受賞



- デジタル印刷システム「AccurioPress C14000」が日本画像学会の「技術賞」を受賞



ESGの社外評価

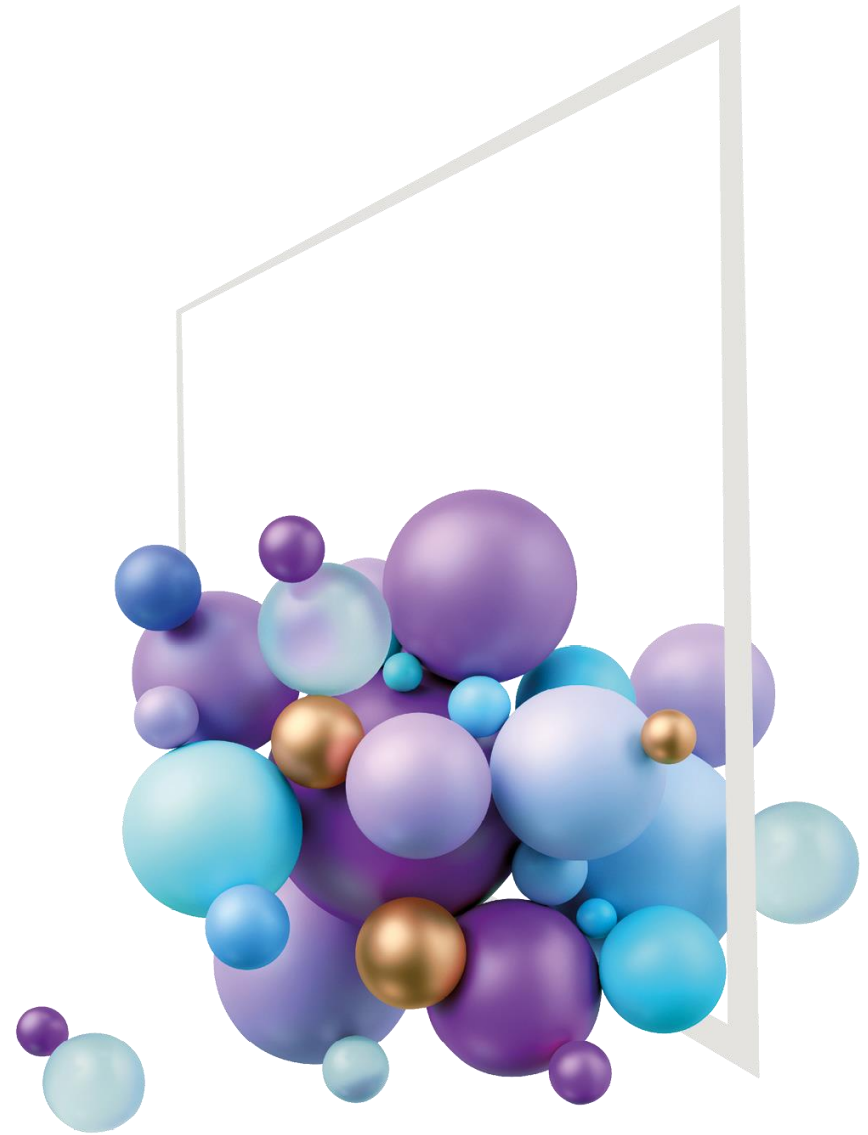
- GPIFのESG指数である全インデックスに6年連続で選定
 「FTSE Blossom Japan Index」 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」 「MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数」 「MSCI 日本株女性活躍指数」 「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」
- 「FTSE4Good Index Series」に19年連続で選定



KONICA MINOLTA



Appendix



2022年度 2Q以降の環境認識（前回想定と今回）

事業を取り巻く環境認識		
	前回想定	今回
為替/金利	直近の実勢レート、マーケット見通しを総合的に勘案。（想定レート：USD110円、EUR125円）	想定レート：7月以降 USD135円、EUR135円 全世界的な金利上昇
COVID-19	多くの国で経済活動の正常化を見込むが、変異ウイルスによる不確実性は残る。中国のゼロコロナ政策によるロックダウン影響大	上海ロックダウンは6月初旬解除、他の局地でロックダウン実施
半導体不足	需要拡大ペースが供給能力増強を上回り、自動車向け半導体中心に2022年にかけて引き続き不足する見込み	変更なし
輸送期間長期化/ 物流費高騰	ひっ迫要因である港湾混雑、検疫措置、労働力不足の改善の兆しは見られず、ひっ迫状態は今後も継続	物流費は更に高騰
ウクライナ/ 欧州情勢	北米、日本および欧州の主要国でCOVID-19前のGDPを上回るが、ウクライナ情勢を踏まえて世界経済見通しは下方修正	ウクライナ情勢は長期化 世界経済下方修正の見通しは変わらず
原材料・エネルギー価格の高騰	ウクライナ情勢による原油価格・エネルギー価格の上昇、および中国からの輸出量減少等による原材料の値上げ、投機筋による銀相場は高騰	

青字：前回認識からの
変更点

事業に及ぼす環境		
	市場認識/需要環境	供給環境
デジタルワーク プレイス	<ul style="list-style-type: none"> • オフィスへの出社再開が定着、ノンハード需要は前年比増加 • ハード需要は堅調、市場は供給律速が影響 • オフィス環境のIT/DX需要成長は継続 • 金利上昇がリースビジネスに影響（PPも共通） 	<p>【1Q】上海ロックダウンの影響大→</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生産は限定的に継続も稼働率低下 • 中国の販売低下 <p>【2Q以降見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 6月後半から正常化に向かうが、主に欧米のハード供給に2Qまで影響残る • 物流輸送期間の長期化/部材・商材調達不足が継続 • トナー不足は解消 • IT人材の高騰と不足によるデリバリー制約
プロフェッショナル プリント（PP）	<ul style="list-style-type: none"> • 商業印刷/産業印刷：アナログ印刷からデジタル印刷へのシフトが加速 • 北米/欧州での経済活動正常化に伴い需要は回復 • 注力するMPP/HPP市場では7-10%の成長 	
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> • メディカルイメージング：医療現場での高付加価値イメージングの活用進展 • プレシジョンメディシン：米国の受診患者数の伸び悩み、治験の段階的再開 	
インダストリー	<ul style="list-style-type: none"> • スマホ市場は期初に見込んでいた市況回復が遅延 • 大型ディスプレイ市場の成長。中国シフト継続（総面積+5%、うち超広幅+20%） • モバイル向け高機能超薄膜フィルムの市場在庫調整（2Qまで継続） • IPカメラは回復も欧州では東欧情勢が影響 	

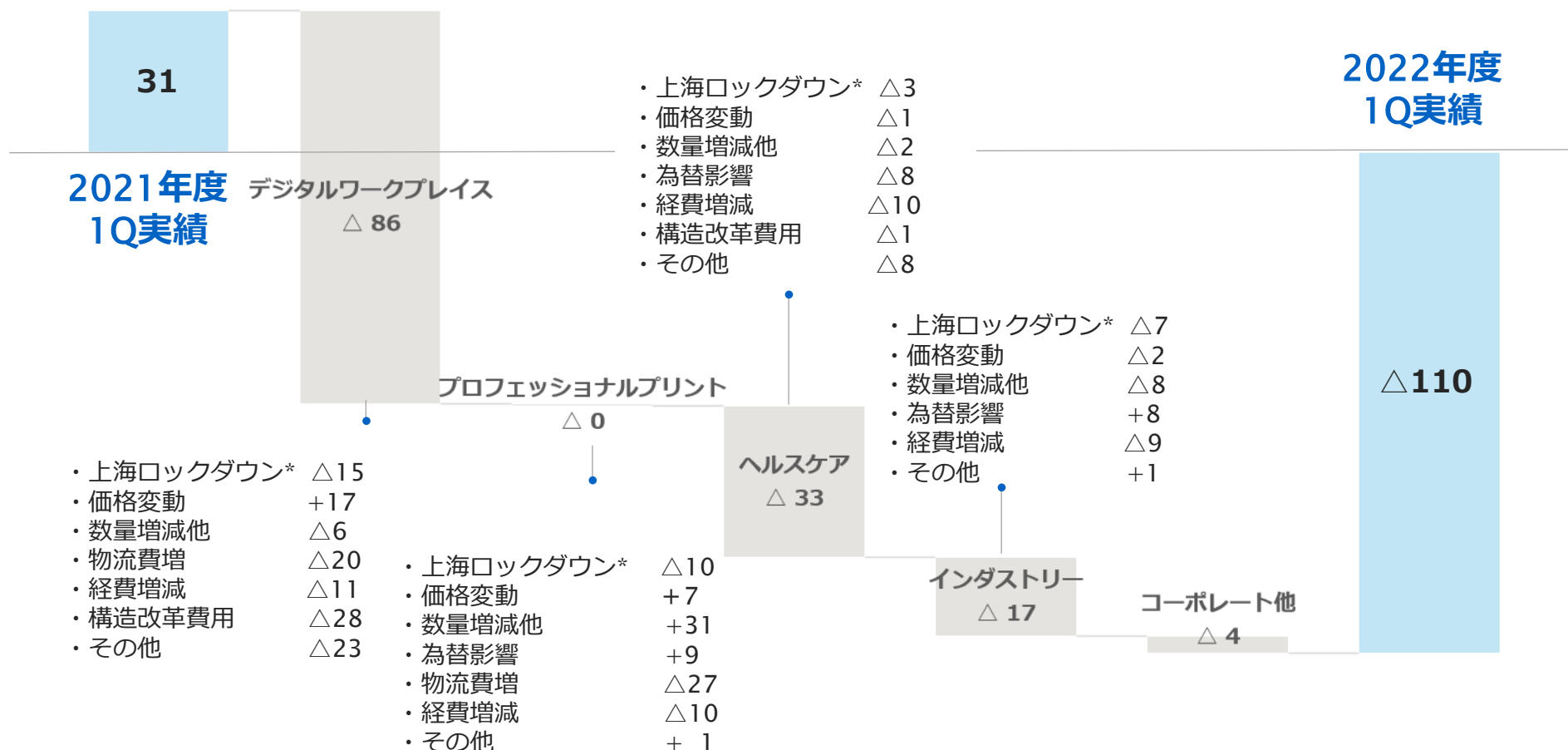
2022年度1Q 業績 | 営業利益の増減要因



KONICA MINOLTA

事業別

【億円】



* 今期中に挽回見込み

Appendix 全社業績



KONICA MINOLTA

【億円】

	2022年度 1Q	2021年度 1Q	前期比
売上高	2,478	2,299	+8%
売上総利益	1,048	1,013	+3%
（売上総利益率）	42.3%	44.1%	△ 1.8pt
販売管理費	1,107	992	+12%
その他収益・費用	△ 51	10	
営業利益	△ 110	31	-
（営業利益率）	-	1.4%	-
金融収支	35	△ 6	-
税引前利益	△ 76	25	-
（税引前利益率）	-	1.1%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 87	10	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	0.4%	-
EPS（円）	△ 17.69	1.98	
設備投資額	84	89	
減価償却費及び償却費 *	188	190	
研究開発費	153	153	
FCF	△ 249	△ 28	
投融資	9	0	
為替レート [円] USD	129.57	109.49	+20.08
EUR	138.12	131.96	+6.16

* IFRS16リース債務約50億円含む

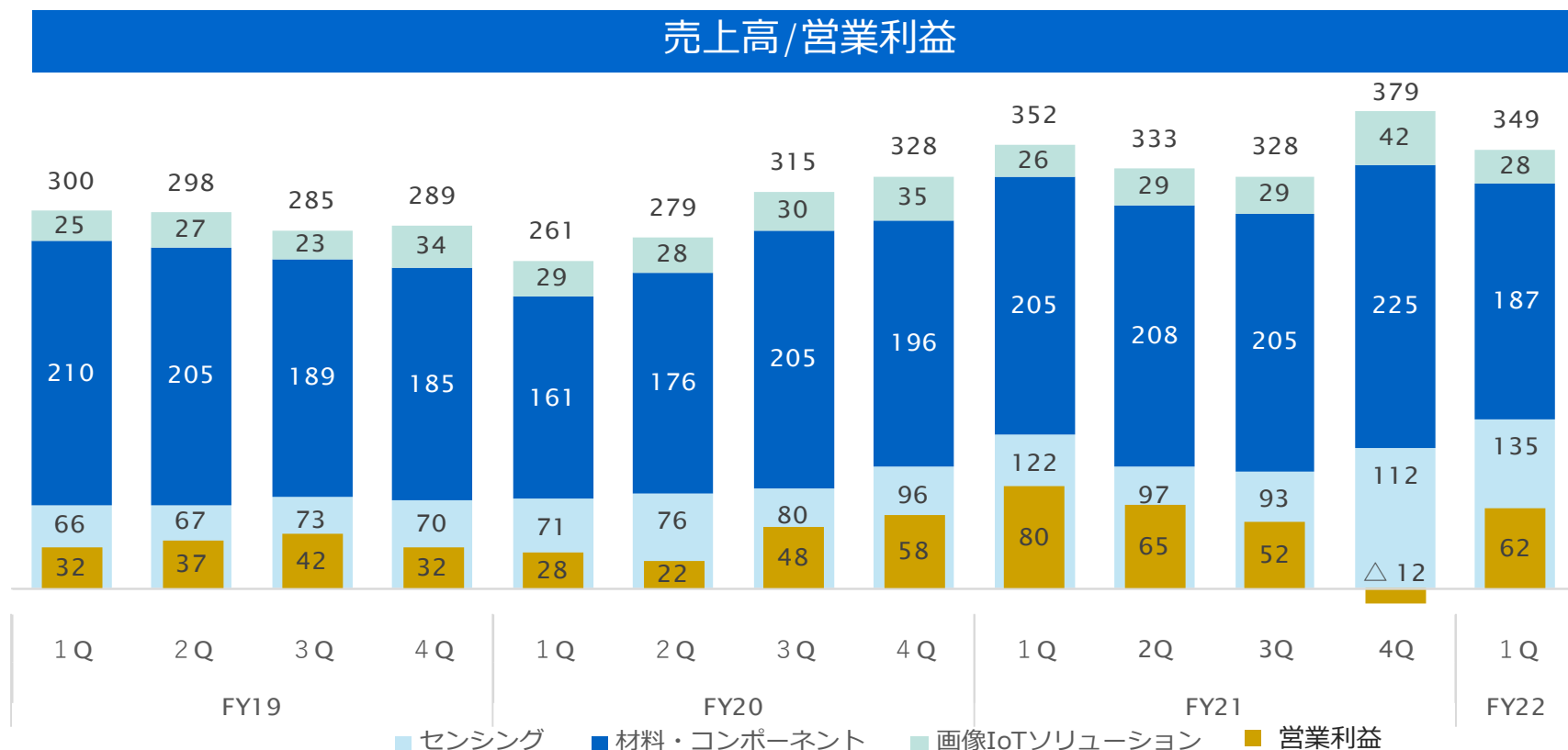
2022年度1Q 業績 | インダストリー事業



KONICA MINOLTA

- 機能材料：下流サプライチェーンの余剰在庫調整が始まり、最終的なフィルム需要が急激に低下するも、主力のVA位相差フィルムの需要は堅調。IT・モバイル向けの販売は減
- センシング：光源色計測器は大手顧客からの需要が堅調、物体色計測器は中国や北米での受注が順調。HSI産業用途は欧米を中心に新規案件を獲得
- 画像IoTソリューション：大型物流倉庫や教育施設向けに監視カメラソリューションの大口案件を受注するも欧州で納入が遅延

【億円】



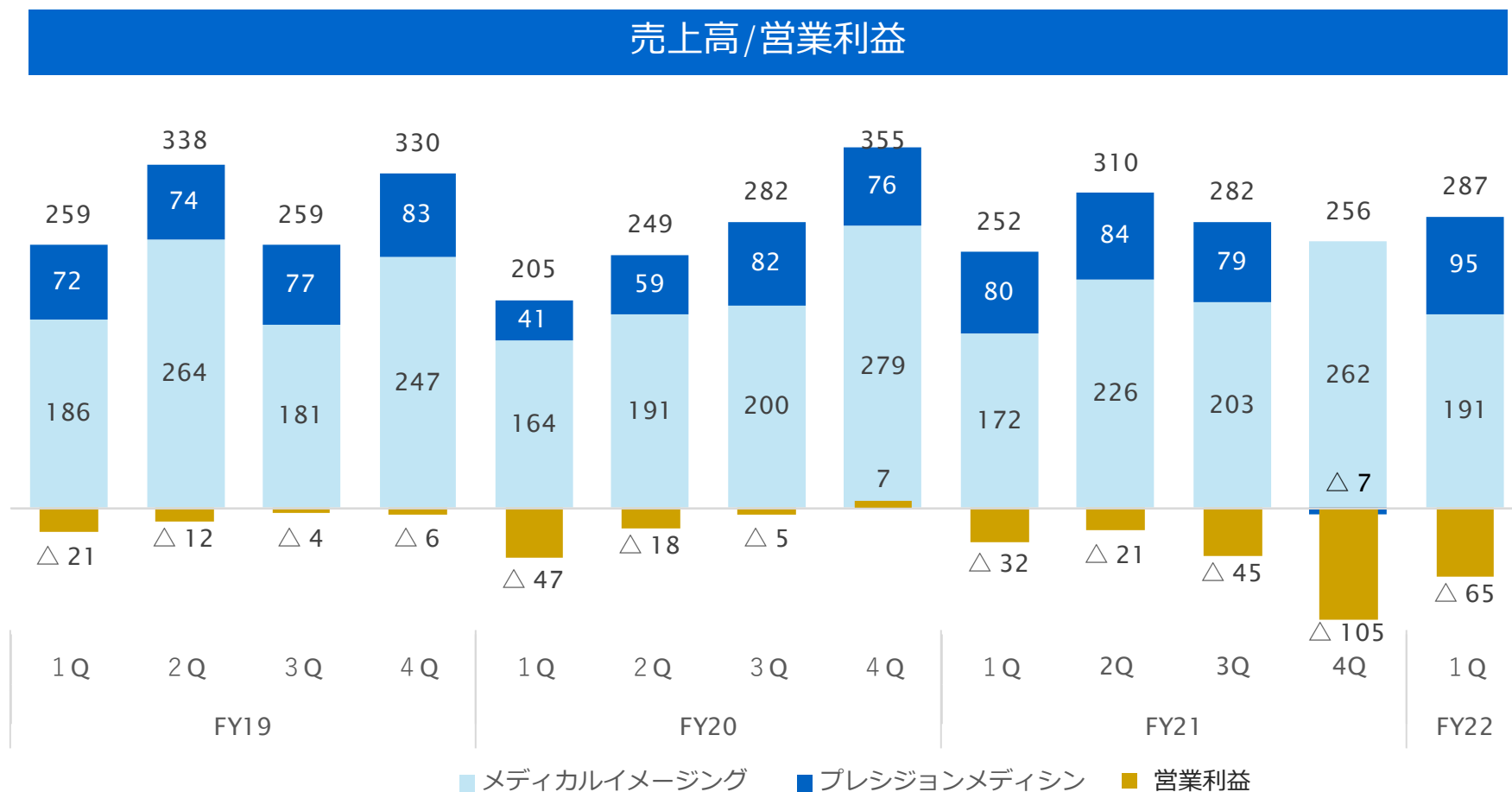
2022年度1Q 業績 | ヘルスケア事業



KONICA MINOLTA

- メディカルイメージング*：X線/医療ITは日米で堅調。超音波は、日本の整形、アジアで伸長
- プレジジョンメディシン：RNA検査は増加も遺伝子検査全体は回復途上。創薬支援は前臨床が伸長

【億円】



* メディカルイメージング：ヘルスケア事業（ヘルスケアユニット）

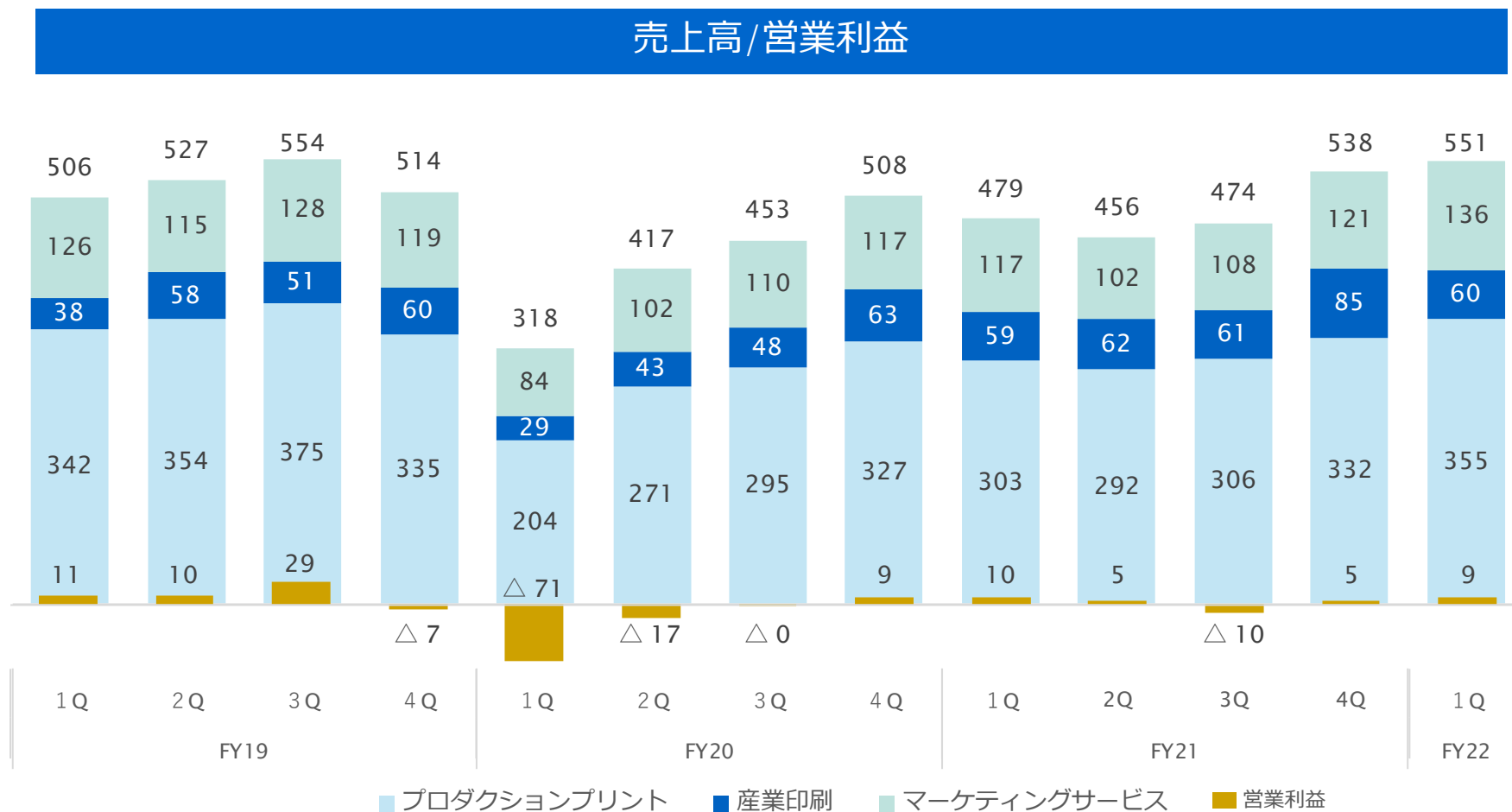
2022年度1Q 業績 | プロフェッショナルプリント事業



KONICA MINOLTA

- プロダクションプリント：ハードは受注は好調継続も上海ロックダウンの影響でFY19比で89%
ノンハードは想定通り回復しFY19比で95% 受注残約100億円
- 産業印刷：ハードは納入遅れが複数機種で発生 ノンハードはYoYで42%の伸長

【億円】



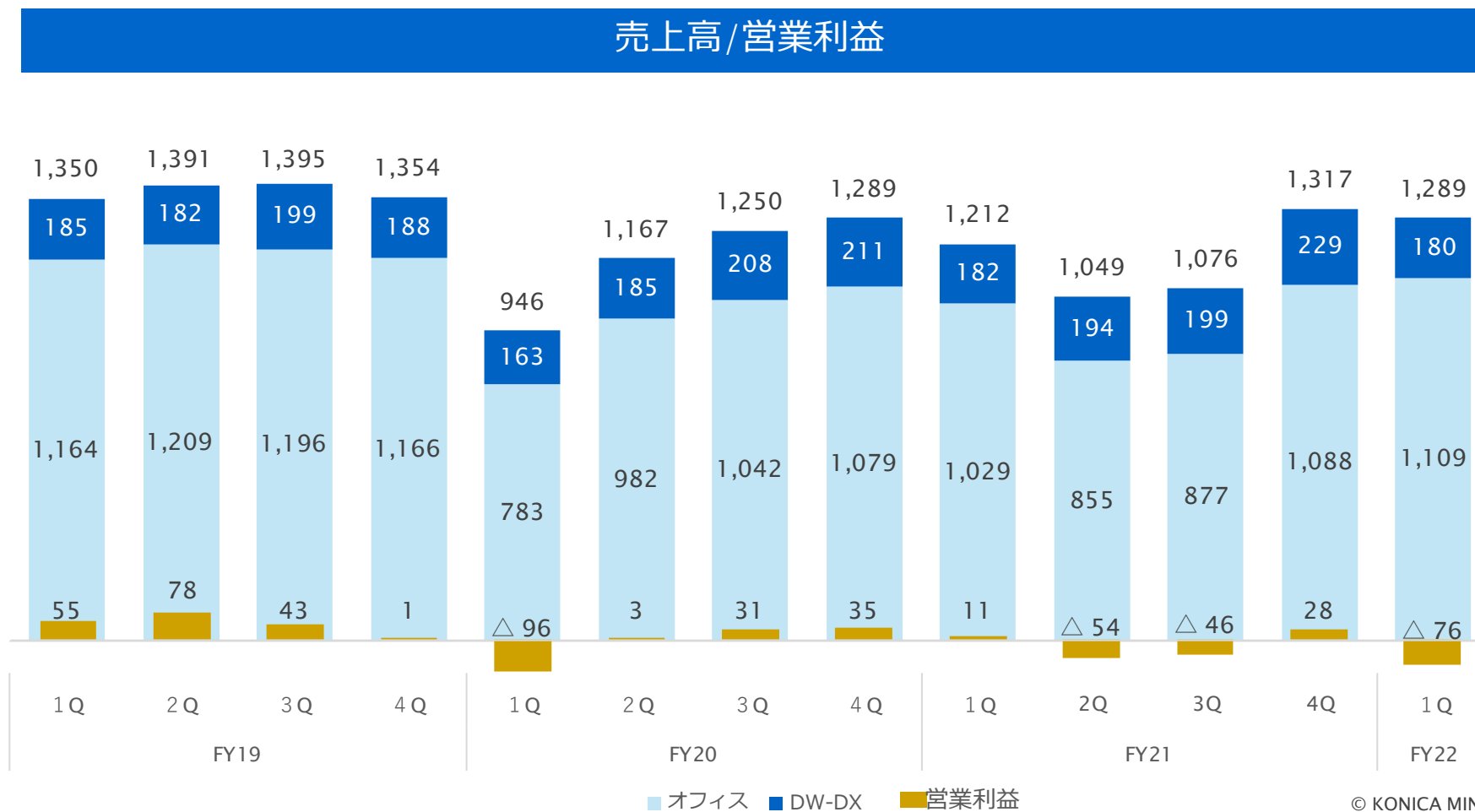
2022年度1Q 業績 | デジタルワークプレイス事業



KONICA MINOLTA

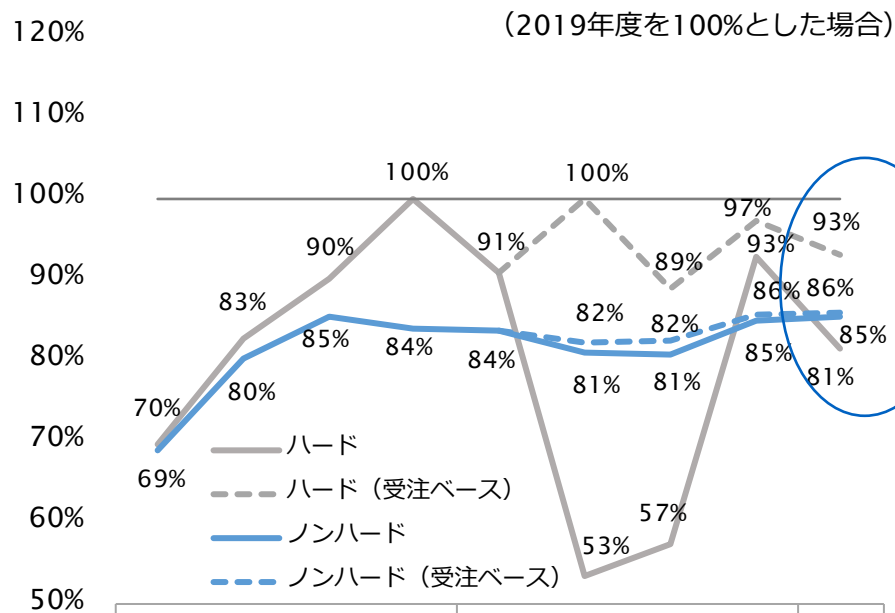
- オフィス：ハードの需要回復継続も、上海ロックダウンと物流輸送期間長期化の影響を受けFY19比で81%。ノンハードは想定通り回復しFY19比で85%。受注残約580億円
- DW-DX：リカーリング収益が好調も、外部調達品の供給不足で伸び悩み

【億円】



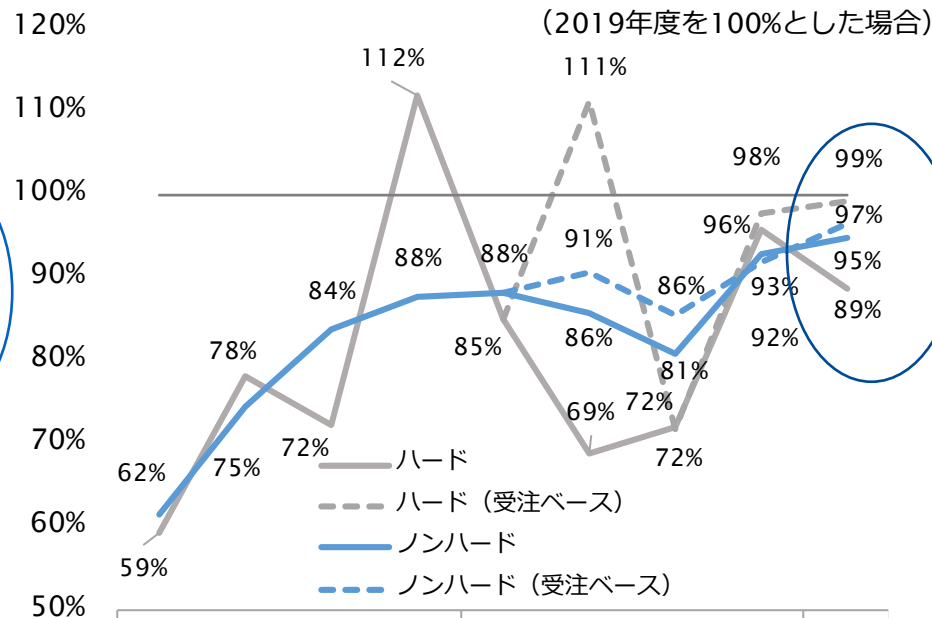


オフィス



ノンハード 地域別	FY20				FY21				FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	85%	90%	94%	92%	92%	87%	91%	89%	89%
米国	62%	73%	78%	81%	77%	75%	74%	82%	77%
欧州	66%	82%	83%	78%	83%	82%	77%	82%	87%
中国	107%	105%	115%	140%	109%	111%	75%	110%	114%
インド	52%	68%	98%	113%	73%	103%	127%	108%	143%
合計	69%	80%	85%	84%	84%	81%	81%	85%	85%

プロダクションプリント



ノンハード 地域別	FY20				FY21				FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	76%	82%	88%	87%	81%	76%	66%	78%	75%
米国	52%	67%	77%	82%	76%	75%	76%	90%	81%
欧州	64%	77%	79%	78%	88%	94%	77%	86%	98%
中国	113%	117%	140%	138%	176%	138%	98%	127%	120%
インド	34%	71%	105%	113%	83%	107%	121%	114%	136%
合計	62%	75%	84%	88%	88%	86%	81%	93%	95%

Appendix 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細



KONICA MINOLTA

	2022年度 1Q	2021年度 1Q	前期比
販売管理費			
販売変動費	127	87	+40
研究開発費	153	153	△0
人件費	522	485	+37
その他	304	267	+37
販売管理費 計	1,107	992	+114
*為替影響額：	75億円（除く為替 39億円）		
その他の収益			
保険金収入	10	0	+9
休業補償等助成金	0	8	△8
事業譲渡益	-	15	-
その他収益	8	9	△0
その他の収益 計	18	32	△14
その他の費用			
事業構造改善費用	35	3	+32
訴訟和解金	16	-	-
その他費用	17	19	△2
その他の費用 計	68	22	+46
金融収支			
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 10	△ 5	△ 4
為替差損益	42	1	+41
その他	2	△ 1	+4
金融収支 計	35	△ 6	+40

【億円】

Appendix セグメント別 研究開発費、設備投資、減価償却費



KONICA MINOLTA

研究開発費	2022年度	2021年度	前期比
	1Q	1Q	
デジタルワークプレイス事業/ プロフェッショナルプリント事業	66	74	△ 10%
ヘルスケア事業	31	27	+16%
インダストリー事業	33	32	+5%
コーポレート他	23	21	+6%
全社合計	153	153	△ 0%

【億円】

設備投資	2022年度	2021年度	前期比
	1Q	1Q	
デジタルワークプレイス事業/ プロフェッショナルプリント事業	43	53	△ 19%
ヘルスケア事業	18	13	+43%
インダストリー事業	10	11	△ 9%
コーポレート他	13	12	+4%
全社合計	84	89	△ 6%

減価償却費 および償却費	2022年度	2021年度	前期比
	1Q	1Q	
デジタルワークプレイス事業/ プロフェッショナルプリント事業	115	119	△ 4%
ヘルスケア事業	28	24	+16%
インダストリー事業	29	29	+0%
コーポレート他	17	18	△ 7%
全社合計	188	190	△ 1%

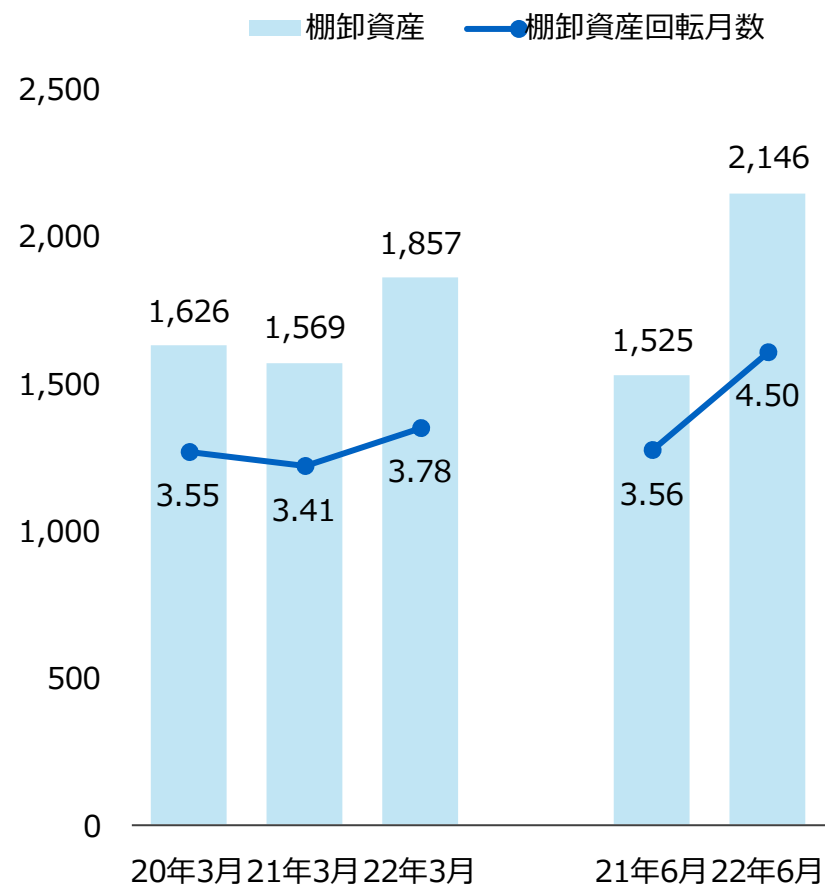
Appendix 営業利益増減分析

【億円】

前年同期比 (FY22/1Q vs FY21/1Q)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
【要因】						
為替影響	△ 1	+9	△ 8	+8	△ 0	+8
数量増減他	△ 41	△ 6	△ 5	△ 15	△ 2	△ 69
価格変動	+17	+7	△ 1	△ 2	+0	+21
経費増減	△ 11	△ 10	△ 10	△ 9	+0	△ 39
その他収益費用	△ 51	+1	△ 10	+0	△ 1	△ 61
【営業利益】						
増減額（前年同期比）	△ 86	△ 0	△ 33	△ 17	△ 4	△ 141

Appendix 連結キャッシュ・フロー

	【億円】		
	FY20 1Q	FY21 1Q	FY22 1Q
税引前四半期利益（△は損失）	△ 238	25	△ 76
減価償却費及び償却費	194	190	188
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	356	147	104
棚卸資産の増減（△は増加）	△ 84	53	△ 164
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△ 255	△ 147	△ 32
その他	△ 51	△ 178	△ 197
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 78	91	△ 177
有形固定資産の取得による支出	△ 61	△ 93	△ 49
無形資産の取得による支出	△ 23	△ 44	△ 46
子会社株式の取得による支出	△ 2	0	△ 2
その他	25	18	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 62	△ 119	△ 72
フリーキャッシュフロー	△ 139	△ 28	△ 249



Appendix 連結財政状態計算書



KONICA MINOLTA

【億円】

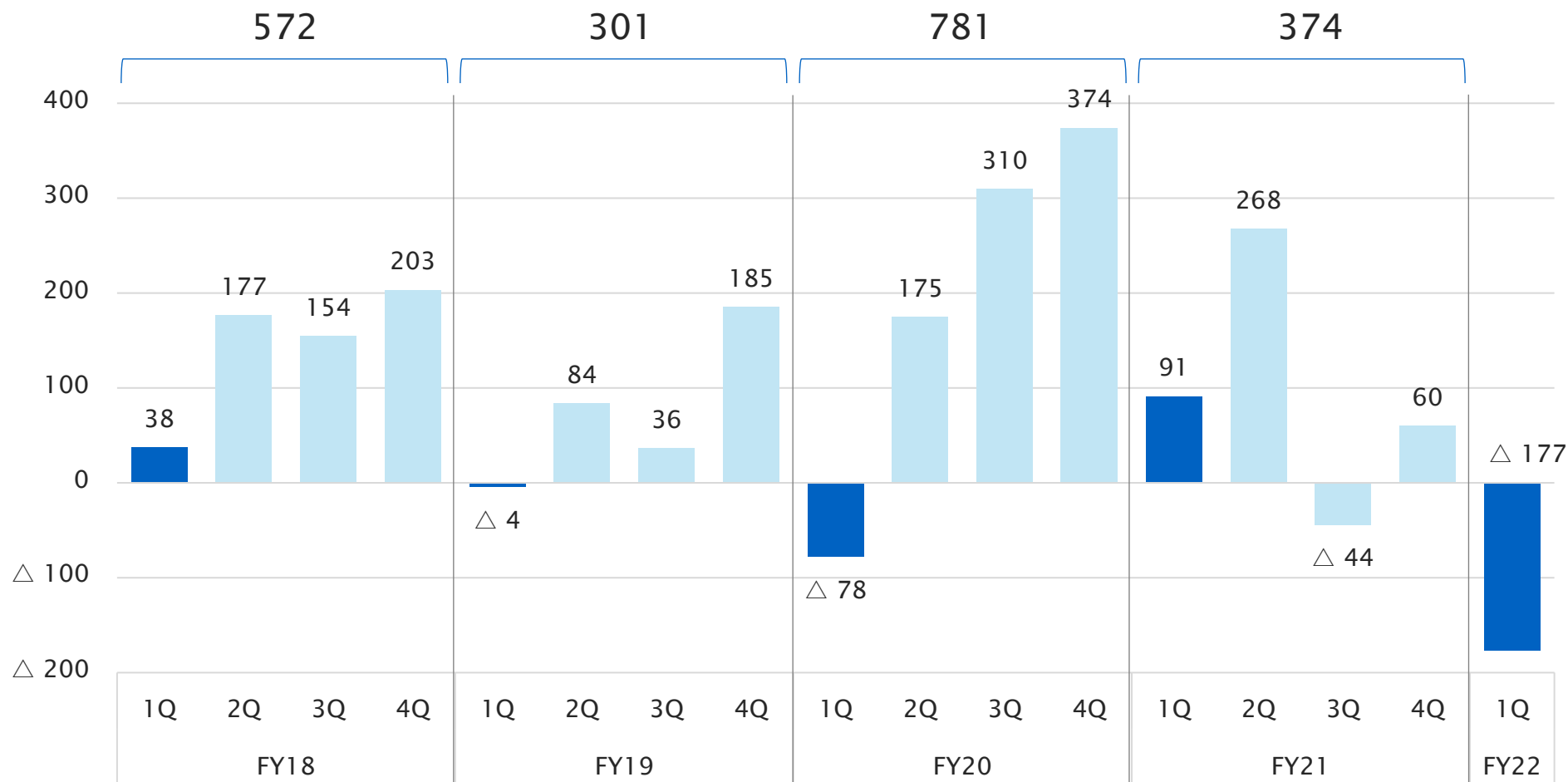
	21年3月	22年3月	22年6月		21年3月	22年3月	22年6月
現金及び現金同等物	1,238	1,177	1,082	営業債務及びその他の債務	1,858	1,821	1,933
営業債権及びその他の債権	2,628	2,802	2,918	社債及び借入金	3,153	3,543	3,812
棚卸資産	1,569	1,857	2,146	リース負債	954	943	975
その他の流動資産	384	353	487	その他の負債	1,526	1,459	1,570
流動資産合計	5,820	6,189	6,634	負債合計	7,490	7,766	8,290
有形固定資産	2,925	2,877	2,906	親会社の所有者に帰属する持分合計	5,399	5,498	5,700
のれんおよび無形資産	3,475	3,541	3,804	非支配持分	108	117	125
その他の非流動資産	777	774	771	資本合計	5,507	5,615	5,826
非流動資産合計	7,177	7,193	7,482	負債及び資本合計	12,998	13,381	14,115
資産合計	12,998	13,381	14,115				
					21年3月	22年3月	22年6月
				自己資本比率(%)	41.5	41.1	40.4
				格付け評価用自己資本比率(%)	45.3	44.8	43.9
				D/Eレシオ	0.76	0.82	0.84

Appendix 営業キャッシュフローの四半期・通期推移



KONICA MINOLTA

【億円】



Appendix 主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度



KONICA MINOLTA

【為替レート：円】

【影響額、感応度：億円】

	FY21	FY22	対前年影響額		為替感応度*2	
	1Q	1Q	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	109.49	129.57	+142	△ 10	+27	△ 3
ユーロ	131.96	138.12	+24	+3	+15	+4
ポンド	153.21	162.96	+6	△ 0	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	+30	+3	+21	+6
人民元	16.96	19.58	+19	+10	+32	+14
その他	-	-	+21	+2	-	-
予約影響額	-	-	-	+2	-	-
合計	-	-	+211	+8	-	-

*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

Appendix セグメント別四半期推移



KONICA MINOLTA

【億円】

【売上高】	FY21					FY22
	1 Q	2Q	3Q	4Q	累計	1 Q
デジタルワークプレイス事業	1,212	1,049	1,076	1,317	4,654	1,289
プロフェッショナルプリント事業	479	456	474	538	1,947	551
ヘルスケア事業	252	310	282	256	1,099	287
インダストリー事業	352	333	328	379	1,392	349
コーポレート他	3	4	5	10	21	3
全社合計	2,299	2,152	2,164	2,499	9,114	2,478
【事業貢献利益】	1 Q	2Q	3Q	4Q	累計	1 Q
デジタルワークプレイス事業	0	△ 56	△ 44	22	△ 77	△ 35
プロフェッショナルプリント事業	13	4	△ 5	21	33	12
ヘルスケア事業	△ 36	△ 23	△ 44	△ 105	△ 208	△ 59
インダストリー事業	80	65	53	82	279	62
コーポレート他	△ 37	△ 40	△ 35	△ 36	△ 148	△ 40
全社合計	21	△ 50	△ 76	△ 16	△ 122	△ 59
【営業利益】	1 Q	2Q	3Q	4Q	累計	1 Q
デジタルワークプレイス事業	11	△ 54	△ 46	28	△ 62	△ 76
プロフェッショナルプリント事業	10	5	△ 10	5	10	9
ヘルスケア事業	△ 32	△ 21	△ 45	△ 105	△ 203	△ 65
インダストリー事業	80	65	52	△ 12	185	62
コーポレート他	△ 37	△ 42	△ 37	△ 37	△ 153	△ 41
全社合計	31	△ 47	△ 86	△ 121	△ 223	△ 110

Appendix セグメント別四半期推移



KONICA MINOLTA

【億円】

【売上高】	FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
デジタルワークプレイス事業	1,212	1,049	1,076	1,317	4,654	1,289
オフィス	1,029	855	877	1,088	3,850	1,109
DW-DX	182	194	199	229	805	180
プロフェッショナルプリント事業	479	456	474	538	1,947	551
プロダクションプリント	303	292	306	332	1,233	355
産業印刷	59	62	61	85	267	60
マーケティングサービス	117	102	108	121	447	136
ヘルスケア事業	252	310	282	256	1,099	287
メディカルイメージング*	172	226	203	262	863	191
プレジジョンメディシン	80	84	79	△ 7	236	95
インダストリー事業	352	333	328	379	1,392	349
センシング	122	97	93	112	424	135
材料・コンポーネント	205	208	205	225	842	187
画像IoTソリューション	26	29	29	42	126	28
コーポレート他	3	4	5	10	21	3
全社合計	2,299	2,152	2,164	2,499	9,114	2,478

【営業利益】	FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
デジタルワークプレイス事業	11	△ 54	△ 46	28	△ 62	△ 76
プロフェッショナルプリント事業	10	5	△ 10	5	10	9
ヘルスケア事業	△ 32	△ 21	△ 45	△ 105	△ 203	△ 65
インダストリー事業	80	65	52	△ 12	185	62
コーポレート他	△ 37	△ 42	△ 37	△ 37	△ 153	△ 41
全社合計	31	△ 47	△ 86	△ 121	△ 223	△ 110

* メディカルイメージング：ヘルスケア事業（ヘルスケアユニット）



【億円】

【売上高】	FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
インダストリー事業	352	333	328	379	1,392	349
センシング	122	97	93	112	424	135
材料・コンポーネント	205	208	205	225	842	187
機能材料	132	128	127	136	522	113
光学コンポーネント	38	44	42	48	172	36
IJコンポーネント	35	36	36	41	148	37
画像IoTソリューション	26	29	29	42	126	28
画像IoTソリューション	23	24	21	21	88	20
映像ソリューション	3	5	8	22	39	8
【営業利益】						
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
インダストリー事業	80	65	52	△ 12	185	62

Appendix デジタルワークプレイス/プロフェッショナル プリント | 販売状況



KONICA MINOLTA

■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
日本	12%	13%	13%	14%	13%	15%	14%	13%	14%	14%	12%	13%	14%	14%	13%	11%
北米	34%	33%	33%	33%	33%	33%	32%	30%	30%	31%	32%	31%	31%	30%	31%	34%
欧州	36%	34%	37%	37%	36%	35%	37%	37%	37%	37%	37%	35%	35%	36%	36%	37%
中国	6%	6%	5%	4%	5%	8%	8%	8%	7%	7%	7%	9%	7%	6%	7%	7%
その他	12%	13%	12%	12%	12%	10%	11%	12%	12%	11%	12%	13%	13%	13%	13%	12%

■ 地域別売上高増減（為替除く）

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
日本	△8%	+4%	+1%	△3%	△2%	△19%	△17%	△7%	△4%	△11%	+12%	△9%	△7%	△2%	△2%	△7%
北米	△2%	△2%	△3%	△12%	△4%	△34%	△21%	△18%	△8%	△20%	+27%	△12%	△14%	△5%	+0%	△2%
欧州	△2%	△1%	+6%	△7%	△2%	△31%	△15%	△13%	△9%	△17%	+28%	△13%	△18%	△1%	△3%	+4%
中国	△4%	△1%	△8%	△40%	△14%	△4%	+6%	+19%	+56%	+16%	+15%	△1%	△21%	△13%	△4%	△12%
その他	△7%	+2%	+5%	△6%	△1%	△35%	△29%	△11%	△7%	△20%	+37%	+4%	△8%	+9%	+10%	+1%

■ ハード売上に占めるカラー比率

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
オフィス	72%	73%	72%	75%	73%	69%	76%	75%	74%	74%	74%	72%	73%	77%	75%	73%
PP	78%	82%	76%	80%	79%	75%	80%	80%	81%	79%	79%	82%	80%	79%	80%	77%



■ オフィスMFP 販売台数推移 Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
A3カラーMFP	93%	99%	102%	93%	97%	72%	84%	92%	92%	85%	132%	62%	55%	103%	84%	89%
A3モノクロMFP	95%	95%	94%	60%	86%	76%	89%	98%	140%	97%	117%	83%	65%	75%	83%	63%
A3MFP合計	94%	97%	99%	79%	92%	74%	86%	94%	107%	90%	126%	71%	59%	91%	84%	79%

■ オフィスMFP ノンハード売上高推移

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
ノンハード売上高	624	605	623	601	2453	421	489	531	511	1951	535	513	528	541	2117	593
ノンハード比率	53%	50%	52%	51%	52%	53%	50%	51%	47%	50%	52%	60%	60%	49%	55%	53%

■ オフィスMFP ノンハード地域別売上推移（現地通貨ベース） Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
日本	97%	100%	99%	98%	98%	85%	90%	94%	92%	90%	108%	98%	97%	97%	100%	96%
米国	99%	99%	98%	95%	97%	62%	73%	78%	81%	74%	124%	103%	94%	101%	105%	100%
欧州	96%	100%	102%	97%	99%	66%	82%	83%	78%	77%	126%	101%	93%	104%	105%	105%
中国	105%	114%	96%	72%	96%	107%	105%	115%	140%	116%	102%	105%	65%	79%	87%	105%
インド	115%	117%	101%	102%	109%	52%	68%	98%	113%	82%	141%	151%	130%	96%	125%	196%
合計	98%	98%	99%	97%	98%	69%	80%	85%	84%	80%	120%	101%	94%	101%	103%	102%



■ プロダクションプリント 販売台数推移 Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
カラー機	100%	97%	102%	72%	91%	51%	73%	65%	100%	73%	138%	83%	99%	71%	91%	105%
モノクロ機	107%	87%	89%	76%	89%	59%	68%	71%	95%	72%	122%	83%	90%	83%	93%	86%
合計	102%	93%	97%	73%	90%	54%	71%	67%	99%	72%	132%	83%	96%	74%	92%	98%

■ プロダクションプリント ノンハード売上高推移

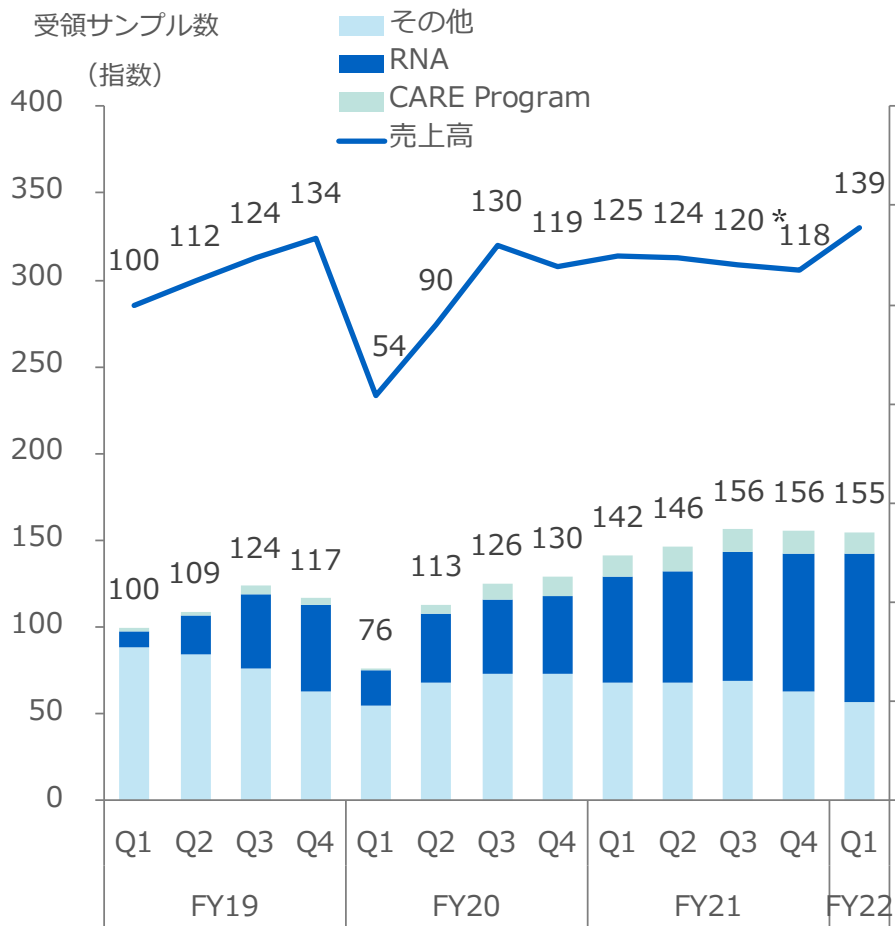
	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
ノンハード売上高	203	199	215	198	816	122	148	179	175	624	183	179	183	196	740	217
ノンハード比率	59%	56%	57%	59%	58%	60%	55%	60%	53%	57%	60%	61%	60%	59%	60%	61%

■ プロダクションプリント ノンハード地域別売上推移 (現地通貨ベース) Y o Y

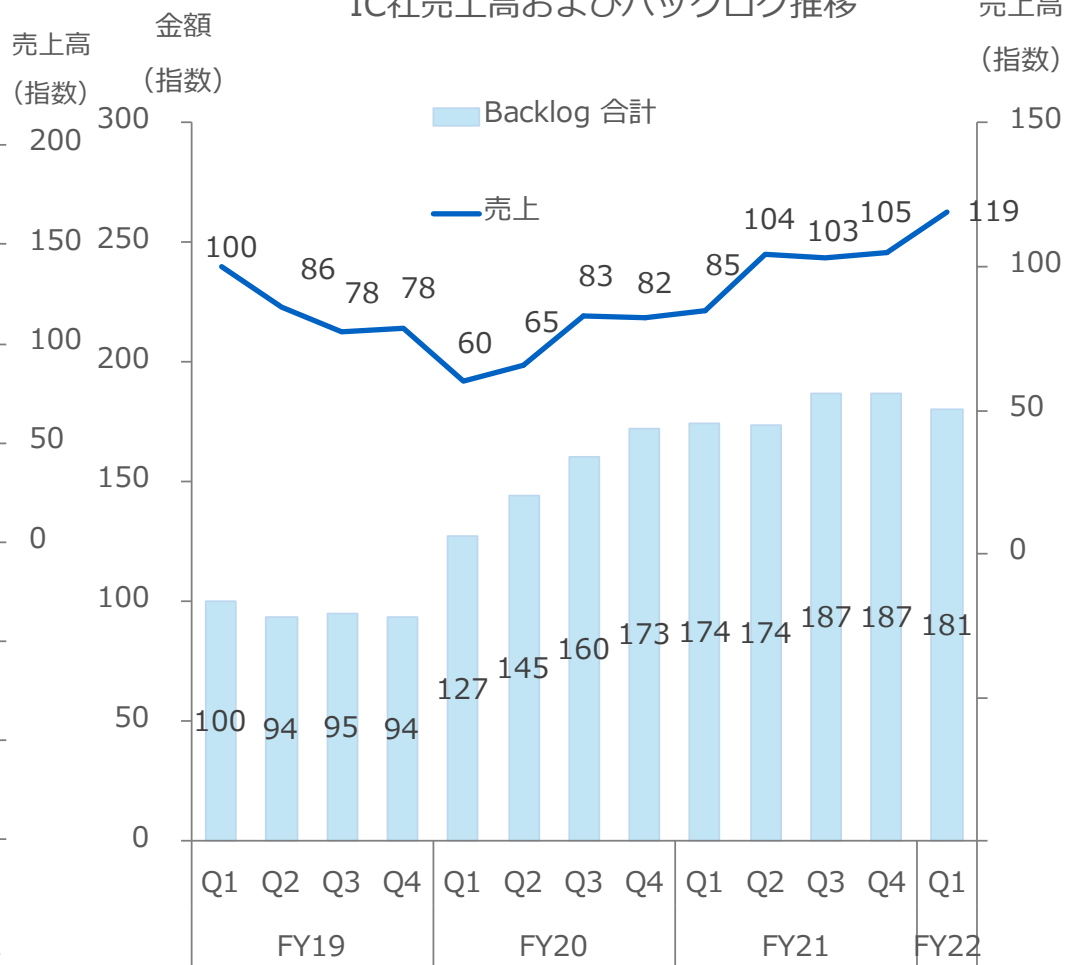
	FY19					FY20					FY21					FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
日本	97%	98%	94%	93%	96%	76%	82%	88%	87%	83%	107%	93%	75%	90%	90%	93%
米国	96%	101%	96%	94%	97%	52%	67%	77%	82%	69%	146%	111%	100%	110%	114%	106%
欧州	97%	97%	100%	100%	99%	64%	77%	79%	78%	75%	138%	121%	98%	110%	115%	112%
中国	112%	121%	116%	92%	110%	113%	117%	140%	138%	127%	156%	118%	70%	92%	105%	68%
インド	117%	121%	116%	105%	114%	34%	71%	105%	113%	81%	245%	151%	116%	101%	131%	164%
合計	102%	99%	101%	99%	99%	62%	75%	84%	88%	77%	141%	115%	96%	106%	112%	108%



AG社 売上高および受領サンプル数推移



バックログ



FY19 1Qを100とした時の指数

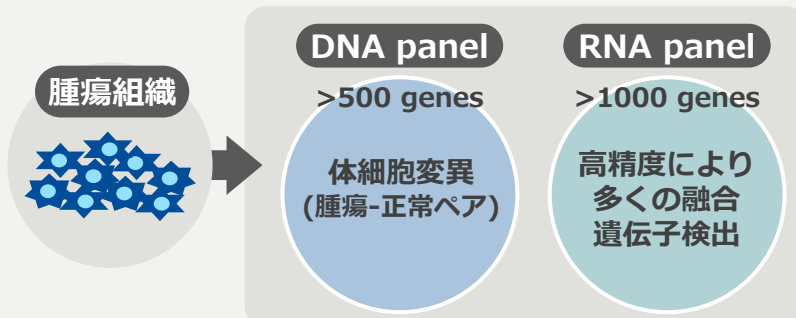
*売掛金減額前



Todai OncoPanel (TOP2)

腫瘍組織がん遺伝子変異

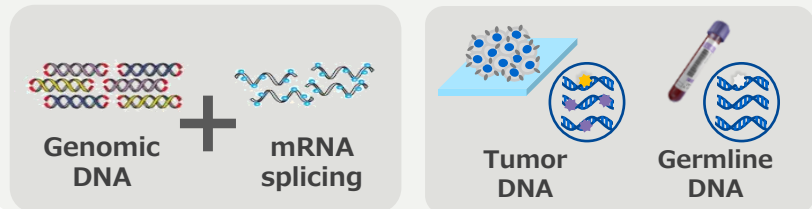
- 腫瘍組織の特徴を高感度/高精度に把握
- 精緻な薬剤治療選択



Ambry Genetics

先天性遺伝子検査から後天性遺伝子検査 までの広範な高品質検査実績

- 最先端遺伝子診断技術
- DNA/RNA同時検査
- 米国での後天性遺伝子検査 展開実績
- データベース・AI解析



幅広いがん種の遺伝子変異を把握

遺伝性リスク理解の向上



最大規模パネルで腫瘍変異データ集積し、C-CATに集約、
国家事業としての創薬・診断支援システム開発に貢献

2021年3月31日まで

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス(OP) ■ ITサービス・ソリューション(ITS) ■ ワークプレイスハブ(WPH)
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント(PP) ■ 産業印刷(IP) ■ マーケティングサービス(MS)
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア(HC) ■ プレシジョンメディシン(APM)
インダストリー 事業	センシング
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計測機器(MI)
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能材料(PM) ■ 光学コンポーネント(OC) ■ IJコンポーネント(IJ)
	画像IoTソリューション
<ul style="list-style-type: none"> ■ 画像IoTソリューション(IIS) ■ 映像ソリューション(VS) 	

コーポレート他、QOL

2021年4月1日から

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス(OP) ■ DW-DX(DW-DX)
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント(PP) ■ 産業印刷(IP) ■ マーケティングサービス(MS)
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア(HC) ■ プレシジョンメディシン(APM)
インダストリー 事業	センシング
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能材料(PM) ■ 光学コンポーネント(OC) ■ IJコンポーネント(IJ)
	画像IoTソリューション
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 画像IoTソリューション(IIS) ■ 映像ソリューション(VS)

コーポレート他、QOL

- 複合機（MFP: Multi Functional Peripheral）スピードセグメント：デジタルワークプレイス事業
Seg.1 ～20枚機、Seg.2 21-30枚機、Seg.3 31-40枚機、Seg.4 41-69枚機、Seg.5 70～枚機（A4縦、分速）
- カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業
ELPP（Entry Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品
LPP（Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品
MPP（Mid Production Print）月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品
HPP（Heavy Production Print）月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品
- RNA（リボ核酸）検査：ヘルスケア事業
DNA（デオキシリボ核酸）の一次転写物であるメッセンジャーRNA（mRNA）構造の変化を捉える検査。
従来のDNAでの検査では臨床的な“意義不明”となっていたDNA変異に対して、転写産物のmRNAを解析することで、より精度の高い検査結果を提供することができる。
- CARE Program（Comprehensive Assessment, Risk & Education）：ヘルスケア事業
遺伝性乳がんハイリスク群の効果的な拾い上げと遺伝子診断に関わるトータルサポートを行うプログラム。
- FORXAI：画像IoTソリューション事業
お客様・パートナーと共に、社会のDXを加速させる画像IoTのプラットフォーム。



KONICA MINOLTA